

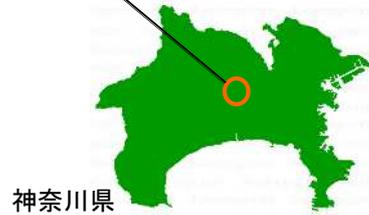
【取組のポイント】

- 収穫後の水田に湛水することで発揮される水田における多面的機能及び湛水による営農効率の改善効果を検証し、冬期湛水の効用の普及啓発を実施し、冬期湛水の取組みを誘導する。
- 冬期に湛水することで得られる環境に優しい水田で栽培された農作物や加工品のブランド力の向上を目指す。

【取組地域の概要】

- 位置
神奈川県 海老名市
- 主要作物
・水稲
(山田錦(酒米)、キヌヒカリ) 他
- 主要施設
・相模川左岸用水路 24.6km
- 冬期湛水面積(令和7年度)
・今泉地区 3.7ha(11/10~1/27)
- 関係農業団体、市町
相模川左岸土地改良区
相模原市、座間市、海老名市、寒川町、藤沢市、茅ヶ崎市

冬期湛水地区(相模川左岸用水)



神奈川県

基盤

用水整備による農産物の安定供給を実現

県内最大の農業水利施設である磯部頭首工から取水した用水を5市1町の農地に相模川左岸用水路により配水し、安定した地域の農産物の生産条件を確保。



相模川左岸用水路を流れる用水、安定した生産条件を確保

基盤整備

(S6年~S14年)

【整備前】

食糧供給の安定化に向けた取組みが急務になり、昭和6年度から昭和14年度にかけて相模原市、座間市、海老名市、寒川町、藤沢市、茅ヶ崎市の農地を潤す幹線用水路の整備が行われた。



建設前の水路



土地改良区(建設当時)

冬期湛水によるブランド力の向上

- 冬期に湛水させることで、田んぼの生態系を豊かにし、地下水の涵養等、環境保全の取組みを行うことで、農産加工品のブランド力向上を推進。

生産現場



冬期湛水田での酒米栽培



冬期湛水田で栽培した酒米による酒造り

水田の多面的機能を学習・調査

- 田んぼの生態系の調査や地下水涵養の調査を地域の小学生、農業者、企業及び大学が実施。

地域の取組



水田まわりでの生き物調査



大手飲料メーカー、大学生による地下水調査

冬期湛水による水田の多面的機能の調査計画 農産加工品の生産

- 実験ほ場では、脱窒素作用が認められ水質の富栄養化の抑制に貢献。引き続き、データの蓄積を進め、定量的な把握に努める。
- 実験ほ場及びその周辺では、冬期の地下水の低下抑制に貢献。引き続き、データの蓄積を進め、定量的な把握に努める。
- 実験ほ場及びその周辺では、地下水位が高いため、代かき期の水管理が容易になった。
- 実験ほ場では、稲ワラ、稲株の土壤還元に必要な施肥が少量で済むとともに、代かき期の排水口の雑物除去の手間が全くなかった。
- 地元酒蔵による冬期湛水による自然環境にやさしい酒米から製造した純米酒の生産を開始。

環境にやさしい冬期湛水による農産加工品の実験

年度	H29以前	H30	R1/H31	R2	R3	R4	R5以降
項目		試行・情報発信		製品化			
農産加工品の製造	---	---	●	→	→	→	→